

## 令和6年市長と語る！ふれあいミーティング

会場：美杉台地区行政センター

日時：令和6年4月23日（火）午後7時～

### 《会場での主なご意見等》

#### 【ご意見①】

浄化センターの裏側にある環境センターは、廃墟のように見受けられるが、今後どのように活用されるのか。

また、浄化センターの拡張予定地であった場所にあるソーラーパネルについても、今後どのように活用されるのか伺いたい。

#### 【回答】

建物を見ますと相当老朽化しております。この建物は環境センターとして位置づけられており、今後どのように使用していくか検討する必要があると考えております。

また、現在、ソーラーパネルのある土地につきましては、過去に12万人口の構想があった時に、下水道処理の関係で高度浄化処理が求められ、その活用の位置づけがありました。現在は、有効利用を図れるように国土交通省と相談し、暫定利用ということで今の形となっております。ソーラーパネルにつきましては、耐用年数を考慮しながら管理してまいりたいと考えます。

#### 【ご意見②】

生活の木 メディカルハーブガーデン薬香草園が9月に営業を終了する。

地権者であるUR都市機構は、今後、借地としては考えていなく、売却の一択で公募すると決めているとのこと。それについて、我々住民側は、美杉台に相応しい、環境に配慮した、緑の多い事業施設、または住宅開発を望んでいる。そのような方向に向かうようUR都市機構や今後土地の購入者になる事業者が美杉台の環境に配慮した方向で開発するような助言や指導をしていただきたい。

#### 【ご意見③】

美杉台地区は、大変緑あふれる住環境が整っている。生活の木は、住民のオアシス的施設で美杉台のシンボリック的存在である。このたびの生活の木の閉園は、我々地域のシンボルを一つ失うということで、多いに失望を感じている。地区計画の目標や方針に沿った生活の木の事業成果が次の事業者にも継承されることを切に願っている。地権者でもあるUR都市機構も同様の期待をしていると聞いている。是非、市長にも美杉台地区住民の期待する事業継承が実現できるようにご尽力いただけたらと思う。

#### 【回答】

9月29日で終了となることを聞いています。地区計画の前に都市計画の用途地域計画があります。地区の景観、雰囲気を変えないようにと位置付けられています。但し、民間の財産ですので、計画の中でどこまで縛れるかはお約束できないところです。生活の木の施設を目的に来ている方も大勢いますし、観光にも貢献しており、地域の環境にも十分取り組んでいただいている訳ですので、施設の形態等について、こうしたものを検討してくれないかと伝えるチャンスはあるかと思えます。

ただ、市としてはそれを条件にすることは行き過ぎだと思えます。皆さんのお声、市としての考えをしっかりと事業主にはお伝えさせていただきます。

**【ご意見④】**

都市計画のところにもコンパクトシティというのがある。美杉台地区ということではなく、飯能市の中でコンパクトシティをどのようにもっていくかという位置付けで一番いい題材なのではないかと思う。そういう観点からはどうか。

**【回答】**

事業主であるUR都市機構、或いは売買が成立するのであれば新たな事業主の方に、UR都市機構から伝えると思えますが、市としてはUR都市機構が対象ですので、そちらに伝えますが、あくまでも民間の土地ですので、お約束はできません。

**【ご意見⑤】**

空き家でも持ち主がいるところは、管理できると思うが、私の家の近くに10数年放置され、木や竹が藪になってしまっていて危険な状態になっている空き家がある。隣近所の方が、怖くて何とかならないかと言っている。市役所に行っても、個人情報があって、なかなか電話番号を教えてくれない。とにかく近所迷惑している。

危険な空き家の対策についてどのようになっているのか。台風が来た時に倒れるのではないかと心配している。動物の巣にもなっている。早急に所有者の調査をお願いしたい。

**【回答】**

今、お話にあったような建物を把握するために今年度、調査をさせていただきます。しかし、所有者までたどり着かない場合もあるかと思えますが、空き家調査の中で調べていきますので、その後どのような対応がいいのか、持ち主がどのような考えをしているのか、それについては確認をさせていただければと思います。ただ、市でも限界があります。個人情報の縛りがありますので、所有者にたどり着かないものもありますが、努力いたします。

**【ご意見⑥】**

市長の説明にあったまちづくりの基本理念の1番目に水と緑の交流によるまちづくりがあり、その基本理念を具体化したのが将来都市像として書かれている。自然を大切にしていく。その中で住民が交流を図っていく。そして皆が集うまち。大変素晴らしいものだと思う。大賛成です。それを一つ具現化したのが、生活の木だと思っている。是非、市長の先ほどのお話のとおり、ご尽力いただければ幸いです。また、UR都市機構のホームページを見たら、UR都市機構のミッションのところにも人が輝く都市を目指して美しく、安全で、快適なまちづくりをしていくと、大変素晴らしい使命が書かれている。更にその下に具体化したことが書かれている。基本的に根底にあるのは、環境や景観に配慮がなされていることがある。是非、UR都市機構もこの使命を果たすように努力していただき、市の方からもお話していただくと大変有難い。

また、矢久橋の下に波を防ぐような石が敷いてあるが、水と緑のまちという景観を考えると取り除いて欲しい。

**【回答】**

UR都市機構の関係ですが、先ほど申し上げましたとおり要望としてはしっかりと市の方で伝えます。ただし、これは決して条件ではありませんので、あくまでも要望としてお伝えさせていただきます。

矢久橋の関係ですが、矢久橋の上流は埼玉県の川の再生事業に取り組んでもらい、川の両岸の環境を整えていただきました。矢久橋のところには河床護岸、波を消す護岸が並べてあります。大水が出るたびに、暴れて、不揃いになり、そこに土が溜まり、草が生えてくる。或いはごみが流れてきてつかえてしまう状況があります。そのことは私も認識しておりますので、この件につきましては、県土整備事務所の方にしっかりと伝えさせていただきます。

**【ご意見⑦】**

ごみ集積場の件について、UR都市機構が開発した時から一区画20世帯分のごみ集積場が設定されてきたと思う。当初から空き地になっていて建物が建っていなかった区画が美杉台には結構あり、それが近年、住宅が建設され、その中には当初設定されていたごみ集積場が設定されてなく、個分割され、設定よりも多くの住民が住むようになり、ごみ集積場の全体のバランスが崩れてしまった。従来から使用している方が非常に困っている。元々美杉台はインフラ整備がきちんとされ、安心して生活ができていた。しかし段々と環境が変わってきて、不安に思われる方も増えてきている。市の担当者とも何度も相談してきたが、なかなか解決策が見つからない状況。業者も大規模な開発は、必ずごみ集積場を設定しなくてはならない決まりがあるとのことだが、小分けにした場合はない。結局、ごみ集積場をきちんと整備しないままそこに住んでおられる。飯能市として移住を進めているが、そういった問題をしっかりと考えたうえで、家を建てる場合にはごみ集積場の関係をしっかりと解決して建ていただくように行政指導をできないものか。

また、高齢でごみ集積場までの遠距離を歩いて行かなければならないという方もいる。生活に必要不可欠なごみの問題なので、収集のシステムを積極的に考えていただきたい。このことは、全国でも問題化していると思うので、飯能市で率先してやれば自ずと飯能市に住みたいという人も増えてくると思う。

**【回答】**

ごみ集積場の設置については、難しい話です。当初は、適切な配置であった集積所も、分譲が進むと溢れてしまう。開発の時には指導をしていますが、他の地域でもある問題だと思います。ごみ集積場について、適当な場所がない場合は市の方も相談に入りますが、なかなか話がまとまったということは聞きません。ごみ集積場の提供については非常に難しい。なかなか空き地だからという訳にはいきません。個人の財産ですから。ごみ集積場を使われる方々が地主の方にお問い合わせしていくのも、一つのルールだと思います。しかし、市の方は関係ありませんということでは決してありませんので、今後のことにつきましては検討していきましょう。

**【ご意見⑧】**

市道の1-8号線、南町の道路改良について、その後の進展をお聞かせいただきたい。私の記憶では令和4年は道路の中心線を決めて道路の形状を決める予備設計をすること。令和5年には詳細設計をすること。令和6年には工事を予定しているという

お話を伺っているのだが、そのような進行になっているのか。住民としては、安全で安心な道路の空間を早く構築して欲しいと願っている。

**【回答】**

市道1-8号線でございますが、隣接する工場の建設ということで、工場を開発するために道路を拡幅することでありまして、工場の完成が見えてきてから動き出すこととなります。

現状は変わっていないように見えますが、交渉は継続していますので、ご承知していただければと思います。

**【ご意見⑨】**

水道管の耐震化についてお聞きしたい。

**【回答】**

水道管の耐震化につきましては、積極的に取り組んでいかなくてはならない事業だと思えます。年次計画を立て、水道管の本管の耐震化工事に着手しております。

能登半島地震がありました。今、あのような地震が飯能市に起こった場合には、同じような状況に陥るかもしれないと心配をされるころでございますが、年次計画を立て、順次、耐震化を図ってまいります。

**【ご意見⑩】**

私は2013年に憧れの美杉台に居を構え、住んでいる。

人口戦略会議で今回は消滅可能性都市に入ってほしくないと思っている。

自分が2040年になった時、高齢者になる頃なので、自分の子どもたちが飯能市に残ってもらいたい、これをどうしたらいいのか、自分も地域でよく考えている。是非、お願いしたいのは、子どもたちが、やはり飯能を好きになっていただき、一度市外へ出るのは構わないが、帰って来てもらえるような環境をつくっていただきたい。自分は何故、飯能市に戻って来たかという、色々な体験活動が自然の中でできた。これが自分の郷土愛の醸成に繋がったと思う。

色々な学校も飯能市へ来る。小学校、中学校の遠足とか、そういったことでも飯能市に来て、色々な経験をして帰る。地元だからこそ、地元の子供たちは色々郷土に触れ合える機会があるかと思うので、若い子を中心にしたまちづくり、例えば、今、国の方でも地域学校協働活動をやっているところもある。地域を核に、子どもを核にした地域づくりを進めていただくこと、子どもたちも将来的には、やはり、また飯能市がいいなと感じ、飯能市に戻って帰って来てもらえるようなまちづくりをしていただきたい。

**【回答】**

ご意見のとおりでありまして、私どもも、担当を含めて魅力アップに努めているところでございます。今の子どもたちが一旦は市外に出ても、また飯能市に戻ってくるまちをつくっていかなくてはならないと私どもは思っておりまして、色々な部門で魅力ある飯能市、魅力あるまちづくりに努めているところでもあります。

機会があれば飯能のPRを是非お願いします。

**【ご意見⑪】**

公園のベンチ、特に木製のベンチが傷んでいるのが見受けられるので、是非、交換をお願いしたい。

**【回答】**

定期的に見回りをしておりますが、もしそういった所がございましたら、ご連絡をお願いします。対応させていただきます。

**【ご意見⑫】**

本日、狂犬病の予防接種が、美杉台公園管理事務所で行われたが、元々は征矢神社の境内が接種会場だった。矢風や前ヶ貫からすると、美杉台の公園事務所前まで基本的にずっと登坂。スローガンの中にあった健康長寿社会をつくると言った中に、犬の散歩で健康を維持されているお年寄りも多いが、お年寄りと老犬、運転免許証を返納して歩いて行くしかないお年寄りが、今日、犬を抱っこして、狂犬病予防接種に来ていた。地域の高齢者の方からの要望として、犬の予防接種会場を、元々の征矢神社に戻していただきたい。

**【回答】**

担当と保健所を管轄する埼玉県の方にお伝えいたします。